



町のすがた

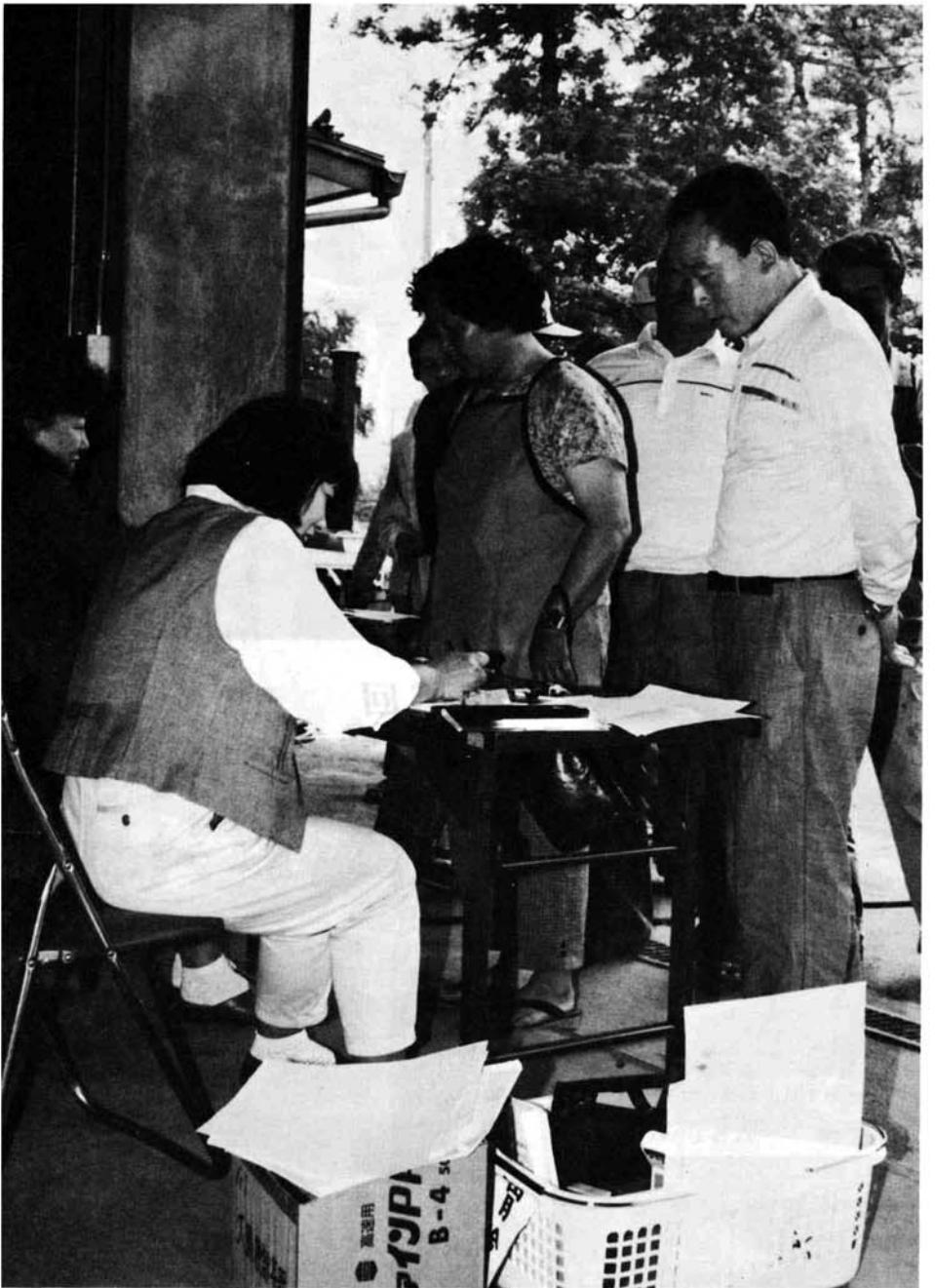
(6月1日現在)

人口 男 3,338人 (-3)
女 3,557人 (-9)
計 6,895人 (-12)
世帯数 1,712 (±0)
()は5月1日との比較

6

第267号

平成2年6月13日
発行 新潟県三島郡三島町役場
(0258) 42-2221
印刷 長岡市あかつき印刷



明日のために 受けける検診

五月三十一日から町内十
三会場で胃ガン検診が行わ
れています。写真は氣比宮、
森林組合での様子です。

病気の治療は早期発見が
第一。とりわけ、ガンはそ
の代表的な成人病であり、
発見が遅れると取り返しの

つかないことになります。
町では胃ガンの他にも大
腸ガン、結核など、いろいろ
な健康診査を実施します。

自分のため、家族のため
に進んで検診を受け、病気
の早期発見に努めましょう。

梅雨の間の外出には、「こ
うもり(蝙蝠)傘」が手放せ
ません。開くところよりも翼
を広げたように見えるのでつ
いた名称で、携帯用の折り畳
み傘だと、さかさまにぶらさ
がった姿が想えられます。
竹の骨と油紙から成る和傘
と違って、西洋伝来の傘は金
属製の骨に茶や黒の布を張っ
たところが、こうもりに似て
いたわけです。明治初年のこ
うもり傘は、文明開化を象徴
するものの一つでした。
わが国の庶民は雨や雪を防
ぐのに蓑を着たり笠をかぶ
ったりしたが、江戸時代の初
期から傘をさすようになりま
した。はじめに流行したのは
「蛇の目」傘です。

「蛇の目」は太い輪で蛇の
目を表現したもの。日本の紋
章の中でも、単純化の極致
ともいいうべきデザインです。
雨傘の場合は、中央部と周
辺の輪を紺や赤、中間の輪を
白く抜いたものが多く用いら
れました。

和傘は蛇、洋傘はこうもり。
ペットになりにくい動物の名
で親しまれてきたのは、ちょ
っと不思議な気もします。

季節風

ふるさとソング 歌詞募集

I. 種目

民謡の部・その他の部

Fight!



II. 賞金

採用賞 (1編以内) 20万円
入選 (5編程度) 3万円

III. 締め切り等

締め切り 平成2年6月30日必着

宛先 役場産業課
照会先 役場産業課

IV. 発表

町広報紙で行い、本人にも通知



V. 応募要領

- 題をつけてください。
- 民謡の部か、その他の部かを明記してください。
- 未発表の作品に限ります。
- 用紙はB5横位置で使用し、1枚1作品としてください。

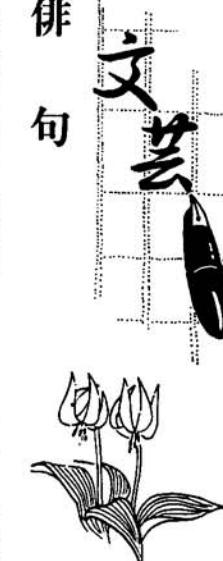


- 楷書ではっきり書き、漢字には振り仮名を付けてください。
- ペンネームによる応募も可としますが、作品ごとに住所、氏名、年齢、職業(勤務先)、連絡先の電話番号を明記してください。
- 一人で何編も応募できます。
- 民謡の部は、三島町の伝統文化、芸能、自然環境、歴史等、または三島町の将来を展望した明るい内容とし、健康的で親しみ易いものを望みます。
- その他の部で、希望ジャンル・補作者・作曲者・歌手等があるときは付記してください(参考にさせていただきます)。
- 歌詞に曲をつけて応募されても結構です(曲を無視する場合があります)。
- 採用、入選作品の著作権は三島町に帰属します。
- 三島町が盗作と認定したときはその時点で採用または入選を取り消し応募者の異議を認めません。
- 採用作品は補作のうえ採用または発表することがあります。

今月の納税	
	第一期分
* 町民税・県民税	六月期分
* 国民健康保険税	六月分
* 国民年金保険料	五月分
* 水道使用料	五月分
* ガス料金	五月分

木	木	木	木	木	木	木	木	木	木
棚	棚	棚	棚	棚	棚	棚	棚	棚	棚
橋	橋	橋	橋	橋	橋	橋	橋	橋	橋
立	立	立	立	立	立	立	立	立	立
南	南	南	南	南	南	南	南	南	南
風	風	風	風	風	風	風	風	風	風
小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
林	林	林	林	林	林	林	林	林	林
雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪
子	子	子	子	子	子	子	子	子	子

俳句文芸



◆20kmの部◆

[一般男子]
1位 村山 利男 1'12'05" (柏崎市)
2位 中村 良二 1'16'36" (柏崎市)
3位 山口 泰明 1'17'05" (長岡市)
[40歳代男子]
1位 浅野 六一 1'17'37" (栄町)
[50歳代男子]
1位 安岡 良一 1'23'30" (埼玉県)
[60歳代男子]
1位 松岡 弘 1'30'24" (群馬県)

[一般女子]
1位 佐藤百合子 1'27'20" (柏崎市)
2位 大塚満喜子 1'36'56" (三条市)
3位 高坂由樹子 1'39'10" (長岡市)
[40歳以上女子]
1位 相田恵美子 1'39'37" (三条市)



▲「ガンバレ!」「ファイト!」。
偶然ハイキングに来ていた人たちから声援がとぶ

◆11kmの部◆

[一般男子]
1位 山崎 裕之 35'42" (西山町)
2位 塚本 徹 35'47" (群馬県)
3位 遠藤 正美 35'17" (豊栄市)
[40歳代男子]
1位 須賀田陽一 39'45" (新潟市)
[50歳代男子]
1位 馬場正代司 41'05" (上越市)
[60歳以上男子]
1位 平野昭二 44'50" (新井市)

[一般女子]
1位 佐藤みどり 52'20" (村松町)
2位 広川玲子 53'27" (新潟市)
3位 桜沢いみ子 58'28" (新潟市)
[40歳以上女子]
1位 根立律子 49'45" (新潟市)

◆3kmの部◆

[一般男子]
1位 阿部長二 10'24" (田上町)
2位 大橋純一 10'33" (板尾市)
3位 内山栄一 10'34" (柏崎市)

[一般女子]
1位 鈴木フジ 14'17" (新潟市)
2位 本間玲子 14'19" (燕市)
3位 猪井みつ江 14'36" (三島町)
4位 浅野光恵 14'45" (三島町)
5位 遠山礼子 15'44" (三島町)

[中学生男子]
1位 石田健夫 10'30" (三島町)
3位 西巻孔史 11'19" (三島町)

[中学生女子]
1位 丸山ユカ 12'18" (長岡市)

[小学生女子]
1位 桜井陽子 13'04" (川口町)

▼ゴール作りにも余念無し



▲おにぎりの包装に忙しい日赤奉仕団のみなさん

▼給水係のみなさんは休むヒマなし



▲参加者が多くなると受付も一苦労

裏方さんもがんばりました

446名の健脚自慢集う



第6回 西山連峰登山マラソン

今年で六回目を迎える西山連峰登山マラソン大会が、五月二十日(日)に行われました。

マラソン選手にとっては、少し暑すぎるくらいの五月晴れのもと、四六名のランナーがみしま路をひた走り、ゴールイン。選手のみなさん、ご苦労さまでした。

また大会の運営につきましては、関係大字、体育協会、公民館振興員、体育指導委員、日赤奉仕団員等、多くのみなさんからご協力をいただきました。紙面を通じて厚くお礼申し上げます。



▲心臓破りの坂を力走

昭和六〇年、五十三名の参加者を集めて始まったこの大会も、今や五百余名の参加申込を受けるまでになりました。また参加者の大部分が町外の人たちであることから、「みしま」の名を知つもらう絶好のチャンスでもあります。

今後は、増え続ける参加者に応じた大会運営と、三島町の名を広く町外の人々にPRする方策についても検討が必要となりそうです。

気比宮の婦人グループが 『麻油せっけん』作りにチャレンジ



捨て場がなく、処理に困る家庭用の廃油は主婦にとって、悩みのタネ。しかも廃油は家庭雑排水のなかで最も河川の汚染につながりやすいと言われ、例えば台所から五百ミリ㍑の食用廃油が流れた場合、魚の住めるほど水質にするには、何と風呂おけ三百三十杯分の水が必要となります。

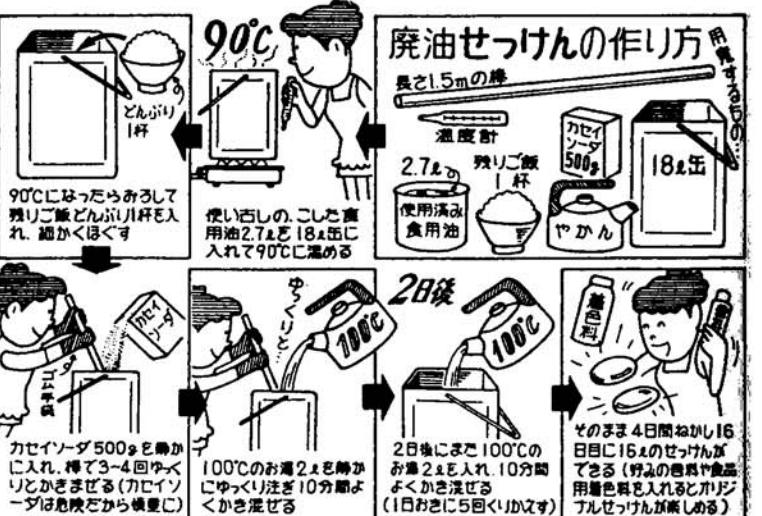
さて、気比宮の主婦のみなさんは、家庭用廃油を利用した“せっけん作り”にチャレンジ。町の環境美化に一役買っておられます。

この「**廢油せつけん**」、作り方はイラストにあるように簡単なもの。原料は家庭で手軽に手に入るものばかりで費用もカセイソーダ四百円程度と安く、しかも油汚れがよく落ち、手が荒れないのでも、頗ったなりかなつたりといったところ。

せっけんを作る際は、次
の点に注意してください。
カセイソーダは皮膚につ
くとやけど、衣服につくと
穴があき、目に入れれば失明
という事故につながります
から、カセイソーダの扱い
の経験のある方の指示に従

カセイソーダは
危険、慎重に！

うなど、くれぐれも慎重を期してください。お湯を注ぐと化学反応を起こし、ゴボゴボと音を立て出します。静かにゆっくりかき回すことが大切です。また化学反応でガスが発生しますから、換気扇をつけ、窓を開けながら風通しのよいところで作業をします。手もかぶれないようにゴム手袋を着用しましょう。



家族みんなで楽しい一日

街·民·体·育·祭

◆ 7月22日(日)

脇小グランド

成功
グルメツアーオ。

五月二十七日、県の観光
キャンペーンの一環として、町をPRするイベント
が行われました。

広報みしま



「グルメツアーハー」と銘打ったこのイベントに、遠くは東京都、秋田県からも含む十一名が参加。鋸工場、酒造工場などの見学や、蓮花寺大スギ、西照寺などを紹介しました。また、昼食には、バイオ松茸と山菜を用いた料理でもてなし、初夏のみしまの味に、みなさん舌鼓をうつっていました。

東北電力(株)から街路灯を

「いい」と街路灯二灯をご寄付いただきました。

- 擁護講演会を開催したところ、多数の方々からご出席いただきありがとうございました。

新潟地方法務局長岡支局 総務課長の鈴木益良雄殿より遺言について、講演いたしました。

その主な内容についてお知らせいたします。

○なぜいま遺言なのか

○遺言の効用

○遺言が特に必要な場合

・夫婦の間に子がない場合

・先妻の子と後妻がいる場合

・長男の嫁に財産を分けてやりたいとき

・相続人が全くいない場合

○遺言のしかた

○遺言のすすめ

○遺言は公正証書で、又公正証書をつくるには、遺言者本人が法務大臣が任命する公証人に直接遺言の内容を話すこと

・遺言の内容をハッキリき

 - ・遺言執行者（遺言どおりに実行するよう世話をすること）を決めておく
 - ・用意するもの（実印等）
 - ・遺言者本人が病気などで出頭できないときは、公正証人に本人の自宅や病院などへ出張をたのむこともできます
 - ・手数料
 - その他にもお話をあります

したが、遺言は後に残される家族に対する思いやりであるということです。

遺言に関する詳しいことは最寄りの公証役場（**三三一五四三五**）か法務局（**三三一五五一**）にお尋ねください。

なお、三島町の人権擁護委員は上岩井、片野平さん、藤川、松浦伊智郎さん二名の方です。日常困っている事等がありましたら、委員の方や法務局にご相談ください。

一人一人を見つめて：

じの窓

る努力を私たちにはしなければいけないと思うのです。また、「人並」という言葉には、大きな落とし穴があります。子どもたちは、無意識のうちに、人並でないと思われるものを排斥しようとします。少し個性が強い子、テンポが違う所がある子を認められなくなります。これが極端な例になると、いじめとなるのではないかと思うこともあります。今の社会は、ストレスが多過ぎるのでしょか。大人のイライラが子どもたちに反映しているのではないかと、私も反省いたします。

